2025年度　事業報告書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

法人の名称　NPO法人かまくら冒険遊び場やまもり

1 事業の成果

鎌倉市との協働事業である「かまくら冒険遊び場」では、新たな居場所の一つとして「冒険遊び場・寺分」を定期開催した。出張冒険遊び場については、初めて小学校の校庭での開催が実現し、子どもだけでも参加しやすい遊び場を提供することができた。また、本事業においては、不登校支援およびヤングケアラー支援の取り組みを継続して実施した。さらに、関係機関や関係者とのつながりを構築し、子どもを見守る大人同士の連携を図る機会となった。

放課後活性化事業として実施している「放課後かまくらっ子」の地域プログラムへの参加については、これまでの「かまくらっ子ふかさわ」「かまくらっ子やまさき」「かまくらっ子おさか」に加え、新たに「かまくらっ子にしかまくら」および「かまくらっ子こしごえ」に参加し、活動の広がりが見られた。

子どもゆめ基金の助成を受けて実施している「あそんでまもる里山事業」は、2020年より月1回の開催を継続している。幼児親子および小学生の参加者数は安定しており、鎌倉の里山をより身近に感じてもらう体験機会を提供することができた。また、鎌倉峯山の会や自主保育団体と連携し、「かまくら冒険遊び場・梶原」に遊びに来る子どもたちとともに、山の保全活動と山あそびを行うイベントを開催した。

2025年は、多くの子どもたちが自由な遊びを経験できる機会を創出するとともに、地域において冒険遊び場の考え方を広げる取り組みを進めた1年となった。また、地域スタッフとのつながりを育みながら活動を展開することで、新たな担い手の広がりや遊びの芽が生まれるなど、地域における子どもの遊び環境の充実につながった。さらに、不登校の子どもや多様な背景をもつ子どもたちの受け入れ先の一つとして、冒険遊び場が地域の中で果たす役割を改めて認識した。今後も、子どもたちが安心して主体的に遊び、成長できる環境づくりを大切にしながら、地域との連携をさらに深め、継続的な活動の充実と発展に努めていく。

2 事業内容

（1）　特定非営利活動に係る事業

1．子育て支援及び地域交流に関する事業

事業名	事業内容	日時	場所	従事者人員	対象者	支出額
鎌倉市冒険遊び場協働運営事業	かまくら冒険遊び場・梶原の運営：鎌倉の自然を生かした遊び場をつくる。現場にある自然や身近なものを活用した遊び（木工、竹細工、昔遊び、火起し、探検、秘密基地づくり、調理など）を行う。 遊び場となる里山の保全活動を行う。	2025年4月1日～2026年3月31日	鎌倉市梶原4-4-2 かまくら冒険遊び場・梶原	11人	子ども及び子育てをしている人、8,238人（開館日数215日）	10,146,042円
	おやこサロン：かまくら冒険遊び場・梶原において、室内外を利用した遊びの場及び乳幼児親子を対象としたつどいの場を提供する。外遊びや広いホールで、絵の具や粘土などを素材とした遊びを行う。講師を招いての講座等の実施。子育てに関する情報掲示板などの設置及び子育て相談や情報交換を行う。	月4回程度	鎌倉市梶原4-4-2 かまくら冒険遊び場・梶原	11人	子ども及び子育てをしている人245人（45回）	
	出張冒険遊び場：●市内各地の既存の公園や里山などで、その地域の人たちとともに場所・季節・地域の暮らしを意識した	年10回（出張）	鎌倉市内の公園や緑地	11人	子ども及び子育てをしている人 出張冒険	

	遊びのしかけを展開する。申し込み制ではない、誰もが自由に過ごせる場の提供を目指す。 ●寺分冒険遊び場を月に2回開催する。	年18回（寺分冒険遊び場）			遊び場：1015人（10回） 遊び場寺分：302人（18回）	
	地域のつどいの場提供：かまくら冒険遊び場・梶原において、地域の方と交流をはかり、多世代の語らいの場をつくる。 高校生、大学生、および大人のボランティア活動の場をつくる。 子育てに関するサークルや講座を開催したい人を応援する。	年4回	鎌倉市梶原4-4-2 かまくら冒険遊び場・梶原	11人	子ども及び子育てに関わる346人(4回)	
	多様な環境の子どもたちの支援：不登校支援やヤングケアラー支援など多様な環境にいる子どもたちの支援として、イベントの開催などの周知活動と居場所の提供に取り組む。	通年	鎌倉市梶原4-4-2 かまくら冒険遊び場・梶原	11人	子ども及び子育てに関わる17人（イベント参加者数	
放課後活性化事業	鎌倉市内の放課後かまくらっ子において、地域コーディネーターからの依頼を受け、プログラムを実施。遊びの大切さをより多くの小学生に広めていく。 かまくら冒険遊び場・梶原の広報活動の一環も担う。また新規のかまくらっ子への参入を検討する。	年合計31回	放課後かまくらっ子 ふかさわ・やまさき・おさか・にしかまくら・こしごえ	11人	参加者11113人（開催校5校）	495,234円
	子どもの声を拾い、自由な時間・遊びを守る広報等の活動を行う。	通年	広報媒体で発信	8人	子ども及び子育てに関わる人	0円
あそんでまもる里山事業	地域の里山の保全団体とつながり、山で遊び、山を散策するイベントを開催する。鎌倉の里山とそれを保全する地域の活動があることを認知し、子どもたちに楽しみながら、鎌倉の自然や地域の里山を守る意識につながることを目的とする。 また、青空自主保育の経験を活かし、里山が子どもの遊び場となり、健やかな育ちの場となることを伝えていく。	年12回	鎌倉市内の里山及び海（山崎・台峯緑地、峯山、桔梗山、鎌倉中央公園など）	3人	子ども及び子育てをしている人575人	958,234円
	峯山、台峰の地域で定点の里山遊び場の企画を検討し、実施する。	12回	鎌倉市内の緑地・公園	2人	子ども及び子育てをしている人60人	20,800円
多様な環境の子どもたちの支援事業	不登校支援やヤングケアラー支援など多様な環境にいる子どもたちの支援として周知活動に取り組む。	通年	広報媒体で発信	11人	子ども及び子育てをしている人	0円

2. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

調査、研究・研修事業	遊び場となる里山の保全活動を行う。 遊び場に関する調査や研究・研修を行う。 その他法人に必要な研修を行う。 救命救急や防災の知識を学べる講座などを開催する。	通年	峯山、山崎・台峯緑地及び鎌倉市内の緑地、鎌倉市梶原4-4-2かまくら冒険遊び場・梶原、等	8 人	里山の保全団体、従業員、子ども及び子育てに関わる人	295,100円
遊び場を取り巻く環境に関する普及・啓発事業	会報を発行する。（年4回） メールマガジンを配信する。（月1回） SNSやHPによる広報活動を行う。 地域の関係各所との連携活動を強化する。 外あそびの重要性を伝えるイベントを開催する。 広報活動を目的としたイベント出展をする。 　梶原でできつつある環境を、他の地域で展開することを検討する。	通年	鎌倉市内	8人	従業員、子ども及び子育てに関わる人	192,810円

活　動　計　算　書

[税込]（単位：円）

ＮＰＯ法人かまくら冒険遊び場やまもり　　自 2025年 4月 1日　至 2026年 3月31日

科目	金額		
【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	39,000		
賛助会員受取会費	29,000	68,000	
【受取寄付金】			
受取寄付金		437,875	
【受取助成金等】			
受取助成金		1,285,000	
【事業収益】			
受託事業収益		10,699,798	
【その他収益】			
受取　利息		4,455	
経常収益　計			12,495,128
【経常費用】			
【事業費】			
（人件費）			
給料　手当(事業)	8,975,168		
法定福利費(事業)	24,024		
通　勤　費(事業)	197,440		
人件費計	9,196,632		
（その他経費）			
諸　謝　金	1,195,080		
印刷製本費(事業)	116,005		
広告宣伝費（事業）	231,500		
旅費交通費(事業)	15,836		
車　両　費(事業)	22,500		
通信運搬費(事業)	76,764		
消耗品　費(事業)	857,800		
保　険　料(事業)	158,764		
研　修　費	159,200		
その他経費計	2,833,449		
事業費　計		12,030,081	
【管理費】			
（人件費）			
役員　報酬	13,364		
給料　手当	250,168		
人件費計	263,532		
（その他経費）			
会　議　費	11,180		
旅費交通費	1,000		
通信運搬費	21,360		
諸　会　費	21,500		
租税　公課	200		
支払手数料	44,698		
支払寄附金	2,000		
その他経費計	101,938		
管理費　計		365,470	
経常費用　計			12,395,551
当期経常増減額			99,577
【経常外収益】			
経常外収益　計			0
【経常外費用】			
経常外費用　計			0
税引前当期正味財産増減額			99,577
当期正味財産増減額			99,577
前期繰越正味財産額			549,832
次期繰越正味財産額			649,409